

「英作文学習サイトの答案添削」 依頼内容

2016.03.24

■WEBサイト紹介

独学しにくい英作文の勉強をWEBで行えるようにすることを目的とした、英作文学習サイトです。

「丁寧な添削が早く届く」ことで、スムーズに英作文の学習を進めることができます。

※画面は現在のもものと異なる点がございます。

問題一覧例

新感覚！英作文サイト
Phrase Phrase me!
フレーズのフレーズ・ミー！

▶入門英作文 ▶受験英作文

■ 複数形

私は虫が嫌いです。

2013/10/02添削中

日本人は勤勉だと言われている。

2013/10/02

私の両親は良い助言をたくさんしてくれる。

2013/09/15

牛肉はめったに食べません。

2013/10/03

彼女は毎日いくつか論文を読んでいる。

2013/09/24

彼女は私のクラスの生徒の一人です。

2013/10/03

舞台上に五人の女性がいます。

2013/10/02

答案返却画面例

wears

My sister always puts red dresses.

putに「着ている」という意味はありません。put onで「着る」という意味になります
が、これは着るという一回の動作を表す動詞で、着ているという場合はwearを使いま
す。

ポイント！

 正解まであと少し！修正しよう！

私の姉はいつも赤い服を着ている。



■ 管理画面(添削フォーム)

アンケートフォームのようなもので、操作に関して特別な技能は必要ありません。

※画面は現在のものと異なる点がございます。

添削フォーム

問題: この本を読んで多くのことを知った。

訳文: I knew a lot of things by reading this book.

以下のどれかをチェックしてください。

正解

準正解

間違い

訂正部分を一箇所だけ赤入れしてください。

間違いが複数ある場合も一箇所だけ訂正してください。

【添削の方法】

ソース ← → ✂ 📄 📄

訂正 S A

learned
I knew a lot of things by reading this book.

body p

上記の訂正を施した文章をお書き下さい。(誤答をストックするのに必要です)

I learned a lot of things by reading this book.

解説をお願いします。

knowだと「何かを既に知っている」もしくは、徐々に物事が明らかになっていくという趣旨で「~がわかる」という意味が強いです。よって今回は学習をするという意味が強いのでlearnを使うほうがよいでしょう。

■ 添削業務の流れ

- 【1】 管理画面の操作方法、添削の方法についてご説明をいたします。
- 【2】 数十個ほどの答案を管理画面よりお渡ししますので、そちらの添削をお願いいたします。
- 【3】 添削内容を弊社スタッフでチェックし、要望があればお伝えします。
- 【4】 添削の感じがつかめましたら、添削者様のスケジュールに合わせ答案をお渡しします。
平日 5個まで 土曜日 10個まで 日曜 20個まで
というように無理のない個数を仰っていただければと思います。
- 【5】 添削数が規定数に達したところで今回の依頼は完了です。素敵な添削をしてくださった方には引き続き添削業務をお願いいたします。

このサイトでは添削を通じて、答案と添削結果をストックし後の世代の英語教育に役立てること、日本人のよく間違える箇所を統計として集めることでよりよい英語教育法を構築することも目指しています。そういった取り組みに興味を持たれた方がいらっしゃれば、ぜひ提案をお願いいたします。

英作文添削を通じて英語力をアップさせたい方も歓迎いたします。
もちろん教師経験アリなどの熟練の方も大歓迎です。
どうぞよろしくお願いいたします。



■ 添削Q&A

【Q】解説は自分の言葉で書くべきですか？

【A】必ずしもその必要はありません。

すでに当サイト内で解説がストックされていますので、そちらから持ってきていただければ結構です。同じような間違いをしている答案には、前例と同じ解説をつけていただければと思います。今までにない間違い方をしている答案については、解説を書き起こしていただきます。

【Q】1答案につき、2箇所以上の間違いがあっても、添削箇所は1箇所だけ？

【A】その通りです。

ユーザー様から答案が届いた場合、添削担当様の方には答案を「正解」「不正解」に振り分けていただきます。

・模範答案の場合→「正解」にチェックし、別解など一言解説を付す

・間違っていた場合→「不正解」にチェックし、間違い箇所が何箇所あろうと「ヒント」として一箇所の添削と解説を付す

間違えた方には再提出をしていただきますが、複数箇所間違えた方は、再提出する際も間違えた答案を提出する可能性が高いです。

が、間違い箇所はどんどん減っていくため、最終的には正解に辿り着けるという仕組みです。この仕組みのことを「段階的添削」と表現しています。

段階的添削を採用した理由は、

・ユーザー様にとって.....ひとつひとつの間違いを丁寧に直すことにより、記憶に残りやすくし同じ間違いをしにくくする

・採点担当様にとって.....完全添削でなくヒント添削という形をとることにより、添削の能率を上げる

といった方針からです。

【Q】完全正解に達するまで3回の添削が行われた場合、その添削は「3回」と計上されるのか

【A】例えば3箇所間違いのある答案を添削する場合、完全回答になるまでには3回添削が必要ですが、この際は「3回分の添削」として扱います。1つの答案から、3つの添削業務が生まれるとお考えください。

【Q】複数間違えている答案は、間違いのうちどれを修正する？

【A】スペルミスや三単現のsのつけ忘れなどのケアレスミスは最初にチェックします。その後文法ミスをなおします。基本的には文章の根幹に関わる部分から修正します。Vの間違い→Sの間違い→Oの間違い→Mの間違いという順にチェックします。進めていく上で要望をお伝えしますので、まずは順番で悩むことなく気軽に進めていただければと思います。

【Q】マックユーザーでも問題ないか

【A】現在の添削行程においては問題ありません。実際弊社でもWindows、Mac両方で管理しております。